

日本機械学会中国四国支部シニア会 第 4 期 総 会

日 時 平成 3 0 年 3 月 6 日 (火) 1 2 : 3 5 ~ 1 2 : 5 5

会 場 徳島大学常三島キャンパス 共通講義棟 2階 K 2 0 3

次 第

一. 開会

一. シニア会会長挨拶

一. 議案

- | | |
|------------------------|---|
| (1) 第 3 期活動報告・決算 | 1 |
| (2) シニア会規約改正 | 3 |
| (3) 東西実務委員会の設置 | 5 |
| (4) 第 4 期役員を選出 | 6 |
| (5) 新運営委員長 (会長) 挨拶 | |
| (6) 第 4 期活動計画・予算 | 7 |
| (7) その他 (シニア同好会の設置他) | |

一. 閉会

日本機械学会中国四国支部シニア会
第3期（平成29年度）活動実績

月/日	内容	場所	参加者数
3/6(月)	第3期総会を以下の内容で実施した。 ・第2期（平成28年度）活動実績報告・決算が承認された。 ・会長と役員が選出された。 ・会長の挨拶があり、第3期（H29年度）の計画と予算が承認された。	広島工業大学 五日市キャンパス 三宅の森 Nexus21 NX605 （広島市佐伯区三宅2-1-1）	12名
	記念講演会を以下のように実施した 山本修弘マツダ(株) 商品本部 ロードスターアンバサダーより、「守るために変えていく（新型ロードスターの開発）」の表題で講演		125名
	学生卒員業研究発表講演審査員を派遣した	広島工業大学 五日市キャンパス	11名
6/8(木)	・H29年度工場見学会として、コベルコ建機(株)広島事業所を訪問した。（広島市立大学釘宮先生他のご協力で学生37名、その他18名参加）	コベルコ建機(株)広島事業所 （広島市佐伯区五日市港2-2-1）	55名
	第1回運営委員会を以下の内容で実施した。 ・支部担当新幹事，見学会ご参加の稲見支部長のご挨拶 ・関西シニア会訪問の報告 ・来年度より，東部（岡山）西部（広島）の実務委員会の設置を決定 ・第2回運営委員会と講演会を11月18日に実施		11名
11/18(土)	第2回運営委員会を以下の内容で実施した。 ・本シニア会規約の改定 ・来年度の新体制移行の具体化（東西実務委員会，シニア同好会，コーディネータ組織との連携） ・第4期総会の準備（第3期の活動実績及び決算見込、新役員案、第4期活動計画案の承認） ・総会講演会の内容の確認	岡山国際交流センター 3F 研修室 （岡山市北区奉還町2-2-1）	12名
	H29年度シニア会講演会として以下を実施し，HPに掲載した。 表題：「船用大型ディーゼルエンジン技術の進歩」講演者：三井造船(株) 大津 正樹氏（元支部長）		22名
随時	HP（ホームページ）更新	支部HP内	—
	会員勧誘（入会者1名、退会者7名）	事務局	75名

日本機械学会中国四国支部シニア会
第3期（平成29年度）決算報告

単位：円

項目	決算	予算
1. 収入の部		
支部補助金	226,266円	300,000円
収入の部合計	226,266円	300,000円
2. 支出の部		
第3期総会・特別講演会	83,090円	150,000円
会議費	137,524円	130,000円
通信費	3,924円	10,000円
消耗品費	0円	5,000円
雑費	1,728円	5,000円
支出の部合計	226,266円	300,000円

日本機械学会中国四国支部シニア会規約

第1条 名称

本会は、日本機械学会中国四国支部（以下支部という）シニア会という。

第2条 事務局

事務局は支部事務局に置く。

支部との連絡および報告は支部シニア会担当幹事が当たる。

第3条 目的

本会は会員相互の親睦交流ならびに情報交換をはかり、学生会や企業の技術者への支援を通じてシニアの経験、技術、知恵の継承に努め、支部の活動や会員増強など支部の発展に寄与することを目的とする。

第4条 活動

本会は前条の目的を達するために次の活動を行なう。

1. シニア会総会、学生会との交流会、企業の技術者との交流会の開催。
2. 支部および学生会の要請による講師等の派遣、講演会や講習会等の企画・開催、理科系若手人材育成支援、中小企業に対する経営・技術支援、等。
3. その他本会の目的に沿う活動。

第5条 事業年度・活動計画・活動報告

本会の事業年度は支部に準じて毎年3月1日から翌年2月末日までとする。

運営委員長（会長）は当該年度の活動計画（予算含む）および活動報告（決算含む）を支部幹事会の承認を得たのち、シニア会総会で承認を得るものとする。

第6条 会員

60歳以上の中国四国支部会員で会員登録した者をもってシニア会会員（以下会員という）とする。ただし、55歳以上60歳未満の中国四国支部会員で会員登録希望者については、運営委員会が認めた者を会員とすることができる。

第7条 運営委員会

本会の円滑な運営のために運営委員会をおく。

1. 運営委員会は運営委員長（会長）1名、副運営委員長（副会長）若干名、運営委員若干名、支部シニア会担当幹事1名をもって構成する。
 - 1) 運営委員長（会長）は支部シニア会担当幹事と連携し、支部からの支援依頼等を適宜、吟味し、シニア会活動に反映するとともに、運営委員会と事務局の活動をリードする。
 - 2) 運営委員長（会長）、副運営委員長（副会長）及び運営委員はシニア会運営活動計画を立案する。
2. 運営委員長（会長）、副運営委員長（副会長）、運営委員は会員の中から支部担当幹事を除き、前期運営委員会の案を基に、支部幹事会の推薦を得て総会で承認選出する。また支部シニア

会担当幹事は支部幹事会において幹事の中から選出する。

3. 運営委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

第8条 実務組織の設置

事業に応じて複数の実務組織をおくことができる。その構成員は、運営委員会によりシニア会会員の中から選出する。

第9条 総会

1. 総会は毎年3月に運営委員長（会長）が招集し、次の事項を審議決定する。
 - 1) 活動計画（予算含む）および活動報告（決算含む）
 - 2) 運営委員長（会長）、副運営委員長（副会長）、運営委員の選出
 - 3) 規約の改正
 - 4) その他シニア会運営の重要事項
2. 総会は会員をもって構成し、運営委員長（会長）、副運営委員長（副会長）、運営委員の過半数の出席をもって成立する。ただし、総会に出席できない委員は委任状、代理人状を提出し、議長に議事への賛否を表明することができる。
3. 総会の議事は出席会員、委任ならびに代理人の過半数で決め、賛否同数のときは議長がこれを決める。

第10条 活動費用

1. 支部からの交付金および事業収入で支弁し、残額は支部会計に組み入れる。
2. 運営委員長（会長）、副運営委員長（副会長）、運営委員の運営委員会参加のための交通費は活動費用から充当することができる。

第11条 契約形態

特定団体・企業等との間で契約が必要となる場合の取り扱いは以下を原則とする。

1. シニア会会員が特定団体・企業等の技術課題解決等の支援を行う場合は、本会はマッチングを行うのみとし、会員個人と特定団体との間で個別に契約するものとする。
2. 講習会（出前講座）や受託事業等において、特定団体・企業等との契約が必要となる場合は本会で契約することとし、案件に関して理事会の承認を得る。

第12条 規約改正

本規約の改正は、支部幹事会の承認を得たのち本シニア会総会において行う。

附則

1. 平成27年3月5日制定
2. 平成30年3月6日改定

東西実務委員会具体化案

概要：

関西シニア会訪問を参考に、東西に分割した実務委員会を設けて行事の企画実施を分担し、中四国支部シニア会と委員会の活性化を図る。

1. 背景

- ・H29年度第1回運営委員会で、H30年度より東西実行委員会を設けることが承認された。
- ・H29年10月の新通則に、「実務組織を設けることができる」とあるので、東西実務委員会と名称変更する。

2. 目的：・中四国シニア会活性化のために、運営委員会を活性化する。

3. 提案

活性化の為に、以下の提案を行う。

- ① 運営及び両実務委員会の担当を図1のように分ける。両実務委員会代表として副運営委員長を置く。

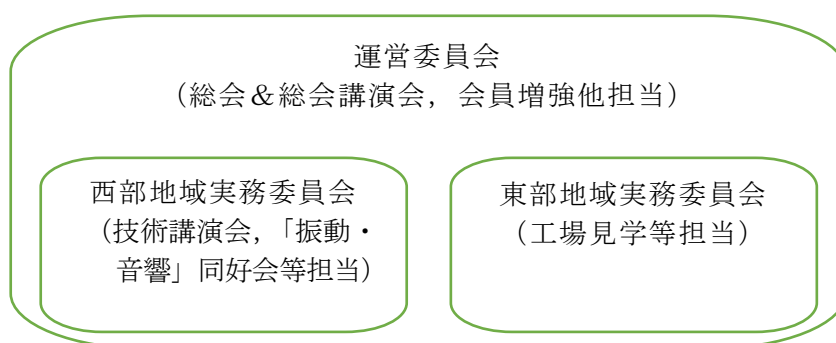


図1 実務委員会の新設と分割案

- ② 地域分割は表1のように分ける。

東部地域	岡山, 徳島, 広島東(東広島市以東), 香川, 高知, 鳥取の各県の運営委員 (H30年は4名の見込)
西部地域	広島東を除く広島, 愛媛, 山口, 島根の各県の運営委員 (H30年は6名の見込)

③開催日の目安

運営委員会：①総会及び特別講演会終了後、②11月頃の年2回
東西各実務委員会：①総会、特別講演会終了後の運営委員会後、②4月～10月の間に2回程度(合計3回/年)
行事：可能な限り運営委員会あるいは実務委員会と併設することが望ましい。

- ④各実務委員会は、地域の特性を考慮しながら予算内で新行事を増加させること。および役割分担他で、希望があれば数年後に見直しをすることが望ましい。

日本機械学会中国四国支部シニア会
第4期（平成30年度）委員案

	氏 名	所 属
運営委員長(会長)	山本 幸男	元マツダ(株)＜西＞
副運営委員長(副会長)	金枝 敏明	岡山理科大学工学部教授＜東＞
同上	佐藤 一教	三菱日立パワーシステムズ(株)＜西＞
支部担当幹事	宮内 勇馬	マツダ(株)
運営委員	秋山 巖	元バブコック日立(株)＜西＞
同上	小川 清満	(有)福山エンジニアリング＜東＞
同上	杉原 毅	ひろしま産業振興機構、元マツダ(株)＜西＞
同上	向井 利文	三菱日立パワーシステムズ(株)＜西＞
同上	野村 大次	野村 CAE 技術士事務所、元ものづくり大学＜東＞
同上	森田 茂	(株)振動音響技研, 元マツダ(株)＜東＞
同上	横田 俊昭	愛媛大学名誉教授、愛媛大学校友会 NPO 理事＜西＞
(事務・会計)	福原 ゆかり	日本機械学会中国四国支部
＜東＞:東部実務委員会(工場見学等担当), ＜西＞:西部実務委員会(講演会等担当)		

日本機械学会中国四国支部シニア会
第4期（平成30年度）活動計画 及び 予算

活動計画	予定
1. シニア会総会・運営委員会・実務委員会	
① シニア会総会	3/6
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4期シニア会総会：2018年(H30)3月6日(火) 徳島大学 常三島キャンパス 共通講義棟 K203 ・ H29年度の活動報告、役員改正とH30年度の計画を決定他 ・ 付帯行事として特別講演会を開催： ・ 講師： 徳島大学大学院 仁木登 特命教授 ・ タイトル：「肺3次元構造をマルチスケールで診る」 	
② 運営委員会	3/6 11月頃
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回を目途に運営委員会を開催 第1回目総会及び特別講演会終了後 第2回目に講演会（または工場見学）を併設し、支部会員、学生員にも参加を呼びかける。 	
③ 実務委員会	5月頃
東部実務委員会と西部実務委員会を設置し、それぞれ委員会で主として講演会及び工場見学会を年数回担当	
2. 支援活動	
① 支部、学生会、教育機関に対する支援	
1) 学生員卒業研究発表講演会の優秀発表賞審査員として会員を派遣	3/6
2) 支部の要請に応じて講習会や講演会へ講師を派遣	随時
3) 大学・高専の非常勤講師、特別講義・特別講演の講師、学生のグループ研究活動支援者等を紹介／派遣	
② 企業に対する技術・経営支援 *1	
1) 支部ホームページ(HP)を窓口として企業からの要請に対応	随時
2) 企業を支援する希望者の人材を登録し、データベースとして活用	未定
3. 会員交流活動	
① シニア同好会「振動・音響」の開催	随時
② 情報交流サロン（講演会） 会員や外部招聘講師による話題提供の講演会を実施 地域の他の団体、機関などとの共催なども考慮に入れ、効率的に実施	随時
4. 会員増強活動	
① 入会資格のある学会員および定年退職される学会員に、シニア会の活動および特典を紹介するチラシを作成し、入会を促進	随時
② シニア会を説明するチラシ作成の他 Web や資料を充実させ、PR を効果的に実施	随時

*1：関西支部の現状（芳村会長報告）及び「ミラサポ」を参考にして進めたい。
理由：中小企業庁の管轄で、パソナが事務処理、多分 5,000 人以上（経営を含む）が登録され、企業は年3回まで無料、講師（シニア）は報酬が得られる。

日本機械学会中国四国支部シニア会
第3期（平成29年度）予算案

項目	第4期予算	第3期決算
1. 収入の部		
支部補助金	300,000円	226,266円
収入の部合計	300,000円	226,266円
2. 支出の部		
第4期総会・特別講演会	150,000円	83,090円
会議費	130,000円	137,524円
通信費	10,000円	3,924円
消耗品費	5,000円	0円
雑費	5,000円	1,728円
支出の部合計	300,000円	226,266円